



# みどり

グリーンヒル  
だより  
2019年  
〈秋号〉

「」挨拶」 理事長 津川 恵美子



九月九 日未明、台風十五号が関東地方を直撃し、千葉県に甚大な被害をもたらしました。明け方の突風は、今までに聞いた事のないような音で、激しさを現していました。その朝七時三十分私は成田に所用の為に向かいましたが、土砂降りの雨の中、十六号線が途中でストップ、左に折れて四街道インターに向かいましたが、入り口でストップ。その後佐倉インターに向かいましたが、ここで初めて高速道路が完全に止まって、入口閉鎖になってることを知りました。途中、ガソリンスタンド四か所が停電の為に閉まっていて、少なくなつたガソリンメーターを心配しながら、お茶を買いに立ち寄ろうとしたコンビニも四か所閉店。ついに全て諦め、八千代

今年の最高齢は一〇二歳の男性でした。人生一〇〇年時代、益々皆様のご壮健であることを祈りつつ、お祝いを催しました。そして今年八月一日からスタッフとなりまして、パトナムからの女性二名が民族衣装・アオザイを着て、ご利用者としてご家族の皆さんと一緒に、さだまささんの「いのちの理由」を合唱、和やかな場面になりました。「私が生まれてきた理由は…愛しいあなたに出逢うため」「幸せになるために誰もが生まれてきた」とこの言葉を胸に刻みつつ、これからご利用者と共に日々を大切に過ごさせて頂きます。

その一週間後、恒例の「敬老会」が開催され、十五日には「グリーンヒル八千代台」、十六日には「グリーンヒル」と毎年変わらないお祝いの風景でした。県内の老人ホームで、こうして恒例の敬老会が滞りなく開催出来たのは、恐らくとても少なかつたと思います。当たり前の事を当たり前に行える事の幸いを、ご利用者、そしてご家族、そして職員共々にかみしめた敬老会でした。

たい。僕を産んだ罪で」と裁判を起こす話だ。彼には戸籍がない。戸籍がないので社会的にはこの世に存在しない。故に学校にも行けない。出生届を出さなかった両親もまた、貧しさの中で、出生届を行う資金もない現実。主人公の少年は学校に行けない現実の中で、朝から晩まで家族の為に働く。そんな中、大切な妹がむりやり十一歳で結婚させられ(児童婚)早すぎる妊娠が契機となり、命を落とす。怒りで家を飛び出し、出逢った不法就労の女性宅で赤ん坊の世話をしながら生活させてもらう。幼い少年が一歳の子供の世話をしながらの生活の中、その女性は不法就労で拘束、二人残され、その子供の世話を何とかしながら生活している。この映画は遠く離れた中東・レバノンの映画ではあるが、その中心にあるものは、とても普遍的であり、深く、日本という豊かで恵まれた国にも当てはまるものがある。

## 翠声耀語

八月下旬、友人に紹介された映画「存在のない子供たち」という、中東レバノンの映画を観る機会を得た。レバノンの貧民窟に生まれた十二歳の少年が、「両親を訴え

ようになり、その笑顔で映画が終わる。しかし、映画のほとんどのシーンでのその少年の悲しい瞳は、観る者の心を打った。

この映画はノン・フィクションであり、この少年もその他の出演者も全員、同様の現実の中、等身大の自分を演じている。見終わりに、心がザワザワとした。最後の明るい話題としては、彼は現在、国連機関の助けを得て、一年前に家族と共にノルウェーに移住している。

(恵)

八月下旬、友人に紹介された映画「存在のない子供たち」という、中東レバノンの映画を観る機会を得た。レバノンの貧民窟に生まれた十二歳の少年が、「両親を訴え

たい。僕を産んだ罪で」と裁判を起こす話だ。彼には戸籍がない。戸籍がないので社会的にはこの世に存在しない。故に学校にも行けない。出生届を出さなかった両親もまた、貧しさの中で、出生届を行う資金もない現実。主人公の少年は学校に行けない現実の中で、朝から晩まで家族の為に働く。そんな中、大切な妹がむりやり十一歳で結婚させられ(児童婚)早すぎる妊娠が契機となり、命を落とす。怒りで家を飛び出し、出逢った不法就労の女性宅で赤ん坊の世話をしながら生活させてもらう。幼い少年が一歳の子供の世話をしながらの生活の中、その女性は不法就労で拘束、二人残され、その子供の世話を何とかしながら生活している。この映画は遠く離れた中東・レバノンの映画ではあるが、その中心にあるものは、とても普遍的であり、深く、日本という豊かで恵まれた国にも当てはまるものがある。



# 敬老会

でも紹介したベトナムからの技能実習生二人にも二会場で行わ

また職員同士の「絆」も感じていただくことが出来ればとの思いを込めました。十五日は昼食会と午後のお茶会、十六日は式典と昼食会が行われました。

前回の広報誌

割ってもらいました。喜寿・米

仕掛けに圧倒されます。

十六日の式典では最高齢の一

利用の最高齢の女性にくす玉を

利用の最高齢の女性にくす玉を



今年の敬老会のテーマは「絆」です。ご利用者の皆様のご家族との「絆」、職員との「絆」、

見守っていただくことができ、感謝しています。

十五日は音楽セラピーで毎月お世話になっている小野尾先生率いる「我楽多ばんどIV+ON E」の皆様にも、みどりの昼食会となのはなでのお茶会の二部構成で演奏をしていただきました。

お琴や尺八、ピアノ力などの素敵な音色をBGMにご利用者、ご家族の皆様は食事を楽しまれた様子でした。

なのはなの食事会では、大平神洲様・神雍様による詩吟が行われました。毎年、迫力のある仕掛けに圧倒されます。

「いつの間にかそんな歳を取ったんだろう」と驚かれる方と様々でした。

二日間にはわたり、お祝いの食事会、お茶会を行いました。ご家族の皆様に参加いただき、職員一同嬉しく思っております。また、ご利用者の皆様も来年もご家族と一緒に祝いのお会に参加できるように、日々のケアにも気を配っていききたいと思っています。

【一丁目副主任

三橋 恵美】



# 令和元年度

**令**

和「人々が美しく心寄せ合う中で文化は花開く（人々が美しく心寄せ合う中で文化が生まれ育つ）」元年ということで、今年の標語「和」「人の和・家族の和・和を結ぶ・和を講じる・性質の違うものがとけ合う・二つ以上の数を合わせたもの」とし、九月十五日・十六日の二日間に渡り行いました。

八千代市長をはじめ、多くのご来賓の方々のご祝辞を賜り、ご家族・地域の皆様と共に和やかにお祝いをいたしました。グリーンヒル八千代台の敬老会は、特養・短期・小規模多機能（八千代台・勝田台）の各部署をあげて行います。キッズルームの子ども達も歌の披露やプレゼント渡しで参加します。会は賀寿表彰から始まります。今年度の対象者は三十二名。最高年齢は一〇一歳：一名、一〇二歳：二名、九十歳を迎えられた卒寿の方は五名、米寿（八十八歳）：五名、喜寿（七十七歳）：二名と人生のお歴々が名前を揃えます。記念写真やお祝品、表彰状を贈呈させていただきました。その後は「敬老会くす玉割り」、アトラクションは「タナチルクラリネットアンサンブル様・竹村流昂寿郎会様のご協力を頂

き、ご披露いただきました。十五日の午後はケーキバイキング、十六日の午後は尾形様によるお茶会を開催し至福のひと時を過ごしました。

記念写真撮影にご協力を賜りました和田写真館様・メイクをして下さった成田様、内山様、その他携わっていただいた全ての方にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

これからも皆様が健やかにお過ごしいただけるよう、取り組んで参りたいと思っております。

【小規模多機能型居宅介護

主任 上園 順子】



# セピア色の写真館

「新橋生まれの新橋育ち」それが母の自慢のひとつ。母の父（祖父）は、自分の生い立ちにおいて家族と縁が薄かったゆえに、自分の築いた家族をとて愛した。板前だった祖父は美味しいものを作り、母たち姉妹を愛情いっぱい育てた。豪放磊落な祖父の気質を受け継いだ母は、快活で正義感が強く、好き嫌いがはっきりしている。

「子どものころ、私の歌がラジオでながれたのよ」と言っていたのも納得できる。伸びやかできれいな声としっかりとした音感を持っていて、いつも歌を口ずさんでいる明るさがある。

戦争がはじまり、小学四年生で栃木県塩原へ集団疎開に行ったが、東京大空襲の時は新橋に帰ってきており、家財道具を乗せたリヤカーを押して逃げ回り、奇跡的に家族全員が無事に終戦を迎え



塩原の疎開先に  
何度も食材を運んだ祖父

ることができた。

「GHQの前でマッカーサーをお友達と出待ちした」とまるでアイドルの追っかけのように話す

## 上原 君子 様 大橋 和美（長女）様 記

母に、戦後の悲惨さは感じられないが、歴史的に貴重な体験をしたことは間違いないだろう。

「女学校ではバレー部でね、東洋の魔女と試合したのよ！」と鼻息も荒く話していたが、まだ東京オリンピック前なので、母が対戦したのは日紡貝塚チームと思われる。この主要選手で構成されたのが後に「東洋の魔女」と呼ばれ金メダルを取った。だから実業団だった頃の魔女たちと親善試合の相手として、近くの女学校のバレー部が選ばれたのだろう。「もちろん負けただけ、一点だけは取ったー」とのこと。この部活動で元来、持ち合わせていた負けず嫌いが存分に発揮されたようだった。



母のころの30代。かわいいうし、おしゃべり。卒業後は証券会社へ勤め、そこで父と結婚。池袋で新婚生活はスタートした。

トしたが、戸田、青森、名古屋、調布、宇都宮、大分と約三年ごとに転勤は続いた。四十年前にここ八千代に家を建て、現在に至る。その間、青森で兄が生まれ、名古屋で私が生まれ、私たちが家族は料理上手な母の手料理を囲んで、泣いたり笑ったりしながら共に歩んできた。

転勤の先々で母もたくさんの友達を作った。「明るくて屈託のない態度に初めは戸惑ったけど、

今では上原さんが大好きよ」と、私に伝えて下さる母のお友達が何人かいる。八千代に住んでから母は、その正義感の強さが買われ、補導員を多年に渡り務め、表彰されるなど、地域貢献に積極的に参加していた。

私たち兄弟がそれぞれ家庭を持ち、家を離れると、父と母は二人で旅行などにもよく出かけ、楽しんでいた。よくロケンカもしていたが、それはたくさんのお話があったということで、似合いの夫婦だと思う。



一枚の藜科で訪れたたびたび

脳出血で倒れ、今年の一月からこちらのグリーンヒルの仲間入りをさせていただいた。これも何か不思議な縁を感じた出来事だった。

左半身麻痺が残った母だけでなく、おしゃべりを楽しみ、見舞う私にかわいいたい顔を見せて教えてくれている。

「人生で大事なことは、どこにいても自分らしく生き抜くこと」だと。それも家族のように寄り添い、支えて下さるスタッフの皆様がたのおかげだと、感謝の思いしかありません。本当にありがとうございます。

これからも母をどうか、宜しくお願いいたします。

# 特別養護老人ホーム グリーンヒル

## 1丁目

— 1丁目は手作り企画で職員がパイナップルの飾り切りを披露しました。

その姿を見てとても喜ばれていました。ご利用者にはリンゴ・バナナのフルーツカットをお願いし、ヨーグルトに混ぜて提供しました。

今後もご利用者と一緒に協力し、楽しく喜んでいただける企画を考えていきたいと思っています。

【リーダー 角田 里和】



## 2丁目



— 2丁目の外出企画で、船橋にあるサッポロビール工場の見学ツアーに行ってきました。当日は、ツアーの参加者が私達のみでしたのでゆっくりと見学、案内を受けることができました。

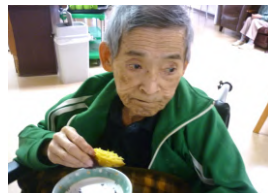
ツアーではビールの試飲ができます。現在はお酒を飲むことはありませんが、以前飲まれていた方々が参加され、大変喜ばれていました。あるご利用者はおかわりをされていました(笑) 昼食は、隣接するレストランで召し上がり、満足されていました。来月は他のご利用者が参加する予定です。

【副主任 一戸 則夫】

## 3丁目



— 3丁目の秋の企画で、先ずはご利用者三名と千葉市花の美術館へ出かけ、食事と秋の花々を満喫していただきました。



来月には全ての方が参加できるサンマバーベキュー、その後は焼き芋の企画等が控えています。また、ご利用者の皆様の力をお借りして、昨年好評だったホール内での焼きそばやお好み焼き調理など、香ばしい匂いに包まれながら、召し上がって頂くことを計画しています。

「食べる楽しみを満喫したい」そんな想いを叶え、笑顔やその後の満足した顔を見られる秋の企画になっています。それに加え、人生の先輩であるご利用者の能力に驚かされたり、食べっぷりに皆で幸せを感じたりと盛り沢山で、職員一同も楽しみな季節となっています。

【副主任 新山 哲】

グリーンヒルデイサービスセンター



**敬** 老の日の  
九月十六  
日から三日間、  
日頃の感謝の  
気持ちを込め  
て「敬老会」  
を開催しまし  
た。ご参加い  
ただきまして  
本当にありが  
とうございま  
した。沢山の  
皆様の協力



**喜寿のお祝です**



**私が書いたのよ!**



ただだいており大変嬉しく思っています。  
皆さまがリハビリや日々の健康管理に励ま  
れている成果は、ご自宅での生活を元気に続  
けていくことに繋がっているのです、今後もそ  
れぞれの目標に向かって一緒にご支援させて  
いただきたいと思います。  
これからも皆さまが明るく楽しく、そして  
絆を感じられる雰囲気の中で、目標を実現で  
きる環境を、デイサービス職員一丸となって  
築いてまいりますので、宜しくお願いいたし  
ます。

【実りサブリダー 小金澤 恵美】  
【相談員 南 祐介】

があり、今  
年のテーマ  
「絆」の大  
切さを改め  
て感じるこ  
とができま  
した。  
毎年敬老  
会では、喜  
寿・米寿・長  
寿（九十歳）  
を迎えられ  
方をお祝い  
させていただ  
いております。  
九十歳以上  
の方も年々  
元気にご利用

サテライト南デイホーム

**南** デイサービスの  
敬老会のご様  
子です。今年も本  
体デイサービスの  
敬老会に参  
加させていただ  
き、合  
同行わせてい  
たいただき  
ました。南デイサ  
ービスの利用者  
も皆さま  
元気いっばい  
です。

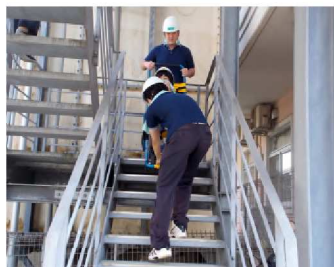


# 高齢者複合ケア施設 地域密着型 特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台

ご紹介させていただきたいと思えます。  
オカリナの演奏で本人をお出迎えし、ご家族・職員とで大好きな花束とケーキをプレゼント。お渡しした際は満面の笑みで喜んでいただけました。ケーキを食べてからは大好きな【黒田節】の熱唱。普段は言葉の少ない方ですが、この時ばかりは皆が驚くほど唄い続けました。  
今後も、ご利用者の笑顔を日常から引き出していけるよう、働きかけて参りたいと思えます。



今年度、グリーンヒル八千代台特養では二名の方が一〇〇歳を迎えられました。  
今回グリーンヒル八千代台からは百歳のお誕生会の様子を



施設では毎年約三回を目安に防災訓練を実施しております。地震・火災を想定し、非常階段から車椅子を使用した避難訓練、通報訓練、また消火器を使用した初期消火訓練等、いざという時の為の動きと知識を確認。実際に発煙筒の使用、非常ベルの作動等、緊張感をもって訓練に臨んでおります。もはや災害は他人事ではありません。実際に発生した場合、混乱を最小限に対応できるように今後の訓練に励んで参りたいと思えます。

【生活相談員

角掛 竜】

次に、防災訓練の様子をご紹介します。思い出にも新しい台風十

# 小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台 サテライトグリーンヒル勝田台



**高**齢者複合ケア施設グリーンヒル八千代台（特養・小規模・居宅）は包括ケアシステムにおける地域拠点として、利用者のみならず地域の安心拠点としての役割を果たしていくための地域活動として、八千代市社会福祉協議会様や勝田台公民館様、各種関係機関と協力し福祉教育を行っています。普段の生活や学習の中で「ふくし」を学ぶことを福祉教育といい、「ふくし」とは「自分のしあわせ」と「みんなのしあわせ」を共に考え、実現に向けて実践していくことです。つまり、福祉教育とは様々な活動を通して相手のことをよく知り、自分のことも知るという「人が共に生きる」学習とも言えます。

グリーンヒル八千代台が進める福祉教育では、「ふくし」を学ぶ中で、日頃見過ごしてしまう普段の暮らしの問題に気づき、自分と他人のより良い生活を考え、自分を見つめる力を育てることを目的として取り組んでいます。また、人との関わりや、人との繋がりの大切さを学んでほしいと考えています。「福祉教育の実践」として、小・中学校や高校だけではなく、地域住民に対して年齢を問わず行っています。それぞれの学校や地域の特性に合わせた活動をお手伝いすることが出来ますので、是非ご相談下さい。

## 取り組み例

グリーンヒル八千代台では学校と共に福祉の心を育てるためのプログラムを考え、支援を行っています。

- ① 同じ地域で生活している人たちを知る行動  
（障害のある人や高齢者の疑似体験、キャラバンメイト、介護教室など）
- ② 地域で行われる介護予防や仲間作りの場  
「さるぼぼ教室・料理教室」などのサークル活動や、気ままにふらっと立ち寄れる子どもも大人も、お年寄りも、みんなが安らぐ居場所づくり「共生Cafeふらっとホーム」での交流
- ③ ボランティア体験、福祉の職業体験、各実習生の受け入れなど
- ④ 環境活動（地域内の清掃活動、収集活動）
- ⑤ 施設・教育機関との交流（地域の保育園や小学校・中学校・高校など）



## その他の活動



**小**規模多機能型居宅介護として誕生会や外出・季節行事を行っています。誕生日会では、似顔絵入りの特製ケーキ・プレゼント・レストランでのお食事会など、個々に合わせて、担当職員がプロデュースしてお祝いをさせて頂いております。介護度が中重度になっても、住み慣れた地域で、これまでの生活を維持し、尊厳をもって自分らしく暮らしたいという思いに添えてまいります。

主任

吉村 宣博



グリーンヒルキッズ

いよいよ二学期が始まりました。暑い夏を元気に過ごした子ども達は、またランドセルを背負って、キッズに帰ってきます。水筒を空っぽにして帰る子ども達には、十分な水分補給が大切です。

夏休みの間、一日の長い時間をお友達や先生たちと一緒に過ごし、さらに信頼感が強まり、協調性もつかがえるようになりました。

これからの季節、学習や遊びの中で社会性を培う良い時期になりますので、SSTやグループワークを取り入れ、落ち着いて過ごすことや、気持ちの切り替え・クールダウンの方法等について、一人ひとりに合わせたプログラムを実践していきたいと思えます。

秋は、芸術の秋・食欲の秋です！サツマイモ掘りや焼き芋パーティー・ハロウィンパーティーなどの楽しい行事で、子ども達の特性が生かされることでしょう！

今後とも、子ども達の応援を宜しくお願いいたします。  
 管理者 穴倉 富子

回転ずしレーンを作ったよ！マグロに卵に納豆まき・・・みんなでお寿司やさんごっこをして遊んだよ！



ふれあいプラザの体育室は広いからたくさん体を動かせるよ！ハンカチ落としやじゃんけん列車をしたよ！



オーエンスギャラリーでお友達の作品を見学したよ！とっても上手でビックリしたよ！



キッズで大人気の納豆チャーハン作りだよ！カレーパーティーも楽しかったよ！



村上ひかり幼稚園のかき氷大会にお招きいただきました！



リトミック1  
二人組でお手玉を使ってぺったんぺったんお餅つき！



リトミック2  
波をイメージして、ボールを転がすよ！



リトミック3  
太鼓のバチを作って、リズム遊び！！



はにわ粘土で土器を作ったり、食品トレーに絵を描いたり・・・スライムも作ったよ！



お習字の時間は「軽やかに書けたよ！」と感想！すごいです！

# サングループの皆様、ありがとうございました!

## 【仲間と楽しく】



40数年前、元気でやる気があり、外出好きで、人と話をするのが大好きな仲間10人でボランティア活動を始めました。グリーンヒルの職員と話し、月1回迷惑にならない様に、買物・外出・洗濯畳みを行ってきました。年間行事の盆踊り・クリスマス会・敬老会等では化粧品のS会社に協力してもらい、入居者にお化粧品を差し上げました。「若い時はよくお化粧品をした」と鏡を見てニコリ笑い喜んでいただきました。数年前からはグリーンヒル八千代台、そして上高野にあるグリーンヒルに月1回伺い、会話、手のマッサージ、



爪のお手入れを行い、時間がある時は男性入居者にも行い、大変喜んでいただきました。

10人いた仲間も家庭の事情、体調不良などで少なくなり二人で行ってきましたが、私もケガ等で継続することが出来なくなりました。入居者の皆様お元気で。未熟な私達が長く続けられたのも理事長・施設長・職員の皆様のお陰です。感謝しています。ありがとうございました。

サングループ 角谷 美智子

## 若葉ハウス



グリーンヒル若葉ハウスは、入所者が5名となり、大変賑やかな毎日を送っています。学生と社会人が

混在しており、それぞれの課題や目標に向け日々奮闘中です。私たち職員は子どもの喜びや葛藤を共に味わいながら自立に向けて手助けをしています。

先日、入所者の誕生日会が開催されました。管理栄養士の小川職員に教わりながら、レアチーズケーキとアップルパイを作りました。完成したものに大満足の様子で、楽しい時間を過ごすことができ、思い出の一つとなったことでしょう。翌日出勤した職員には、嬉しそうに誕生日会の様子や自分たちで作ったケーキについて話し、残して



くれていたケーキを食べて「おいしい!」と言うと照れたように笑っていました。

大人から褒められることや、一緒に楽しい時間を共有する経験が少ない彼女たちは、若葉ハウスで褒められたり、失敗してもどう改善するかを一緒に考えたりしながら成功体験を重ねていきます。その中で自身の存在価値を少しずつ認められるようになり、人生を謳歌してほしいと私たちは願っています。

入所者との関係性を築くことは今後の大きな課題となっていきますが、職員一同、根気よく一人ひとりと向き合い続けていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

【ホーム長 片桐 正美】